

Case 2) 70歳代 男性

標的病変:左SFA CTO

診断名: 閉塞性動脈硬化症、慢性心房細動、無症候性心筋虚血

冠危険因子:特記すべきことなし

現病歴:

慢性心房細動にて近医フォロー中。3年前頃より左下肢間欠性跛行出現。経過見ていたが、昨年夏頃より症状増悪。ABI左0.58と低下あり、エコーでも左SFAの閉塞を認めた。造影上、冠動脈病変を認めたため、昨年11月、LADにPCI施行(DES)。下肢動脈造影では左SFA閉塞を認めたため、本年1月にEVT施行。しかし、術中穿刺部出血から血行動態不安定となったため、途中で中断された。その後、薬物治療を継続していたが症状強く、今回、EVT目的にて当科紹介となった。

ABI rt. 1.07, lt. 0.58

Cre 0.97 mg/dl、eGFR=58.5 mL/min/m²

Case 2) 標的病変: 左SFA CTO

